

	科目名	担当者 (ふりがな)	曜日・時限	教室	目標	内容	テキスト	成績評価法
3	日本語3総合B1	伊能 裕晃 (いのう ひろあき)	水曜・1限	N401	初級後半から中級の文法や語彙を覚えて、それを使えるようになる。	日本語の中級の文法(ぶんぼう)や言葉(ことば)をおぼえて、使えるようになるように、いろいろな練習(れんしゅう)をします。毎回、教科書(きょうかしょ)を読んで、予習(よしゅう)をしてきてください。かならず日本語3総合「B1」と「B2」の両方(りょうほう)のクラスに出てください。	『中級へ行こう 日本語の文型と表現 55 第2版』 スリーエーネットワーク	授業への参加度(出席・授業態度)40%、 宿題 20%、 テスト40%
	日本語3総合B2	伊能 裕晃 (いのう ひろあき)	水曜・2限	N401	初級後半から中級の文法や語彙を覚えて、それを使えるようになる。	このクラスの目標(もくひょう)は、中級の文法や言葉(ことば)を使って、自分の考えていることを日本語で表現(ひょうげん)できるようになることです。読んだり、聞いたりしたことを、書いたり、話したりできるように、毎回、いろいろな練習(れんしゅう)をします。かならず日本語3総合「B1」と「B2」の両方(りょうほう)のクラスに出てください。	『中級へ行こう 日本語の文型と表現 55 第2版』 スリーエーネットワーク	授業への参加度(出席・授業態度)40%、 宿題 20%、 テスト40%
	日本語3会話B1	桂 千佳子 (かつら ちかこ)	月曜・3限	N301	具体的なことが説明できるようになる。日常的で具体的な談話が理解できるようになる。	単語(たんご)⇒句(く)⇒文章と、小さい単位(たんい)から次第(しだい)に大きい単位(たんい)への発音、イントネーションの特徴を意識しながら学びます。 発音の練習をしながら、毎回短いスピーチで実践(じっせん)を積み上げていきます。長さより意識して発音することを優先(ゆうせん)していきます。 互いに聞き合いながら進めていくため、クラスメートとの協働(きょうどう)を重視(じゅうし)します。	『伝わる発音が身につく!にほんご話し方トレーニング』アスク出版	授業参加度(クラスメートとの協働(きょうどう))40% 提出物 40% スピーチ・ディスカッション 20%
	日本語3会話B2	福島 恵美子 (ふくしま えみこ)	木曜・3限	N313	具体的なことが説明できるようになる。日常的で具体的な談話が理解できるようになる。	相手(あいて)に合わせて、お願い、誘い、アドバイスなどの日常的なコミュニケーションができるようになることを目指す。具体的には、敬語を使った丁寧(ていねい)な会話と、友だち言葉を使っただけの会話の練習を行う。また、発表をしたり、各自がテーマ提供者(ていきょうしや)となって、話し合ったりして、自分の考えをわかりやすく伝える練習も行う。	プリント配布	授業参加度(出席・授業態度)40%、 クイズ20%、 発表20%、 課題20%
	日本語3講読B	許 夏玲 (ふい はーりん)	木曜・2限	N306	日常的で長くない文章が読めるようになる。	エッセイや新聞記事(しんぶんきじ)、物語(ものがたり)など様々な文章を読む力、また社会的なテーマについて自分で考えていく力を身につけることを目標(もくひょう)としています。	プリント配布	授業への参加度(出席・授業態度)60%、 課題40%
	日本語3作文B	荒井 直美 (あらい なおみ)	月曜・1限	N301	具体的で、ある程度まとまりのある文章が書けるようになる。	作文の書き方や、書きことばなどを学びながら、作文を書きます。みなさんが書いたものを読んだり、話したりしながら、楽しく書く練習をしましょう。	杉浦千里・木戸光子『おしゃべりしながら書くことを楽しむ中級作文』凡人社	授業参加度(出席・授業態度)50%、 課題50%
	日本語3文法B	笹目 実 (ささめ みのる)	木曜・1限	N301	初級から中級初めの学習項目が理解できるようになる。	学習項目ごとに学んでいきます。各課ごとにポイントを学び、練習問題や小テストを行います。	プリント配布	授業への参加度(出席・授業態度)50%、 課題20%、 小テスト30%
	日本語3漢字B	荒井 直美 (あらい なおみ)	火曜・2限	N301	基本(きほん)漢字400~500を学ぶ。	テキスト35課~45課の漢字の読み方・書き方・使い方を勉強します。漢字の勉強方法や好きな漢字についての発表、小テスト、テストもします。	『(新版) BASIC KANJI BOOK ―基本漢字500― VOL.2(第2版)』, 凡人社	授業参加度(出席・授業態度)30%、 宿題20%、 小テスト・テスト50%

	日本語3聴解B	江口 典子 (えぐち のりこ)	月曜・2限	N301	日常的で具体的な談話が理解できるようになる。	聴解(ちょうかい)を中心に、話すこともします。日常生活の場面において聞いたことを伝える、話している人との関係やトピックについて感じたことを話します。ロールプレイ、語彙(ごい)や表現の小テストをします。	『新版 聞いて覚える話し方 日本語生中継 初中級I』くろしお出版	授業参加度40% 課題40% 小テスト20%
	日本語2/3特別 演習B [多読]	桂 千佳子 (かつら ちかこ)	金曜・1限	N313	「多読TADOKU」の特徴(とくちょう)を理解し、実践(じっせん)することで、日本語をより母語に近い使い方ができるように目指す。	「勉強するモード」から「自分のことばとして使うモード」への切り替え(きりかえ)ができるように目指す。 ①単語の意味や文法を気にしないで、「書かれている内容」について自分の中で対話(たいわ)できるように読む。 ②同じ場面でも、一人一人の理解が多様であることが実感(じっかん)できるよう、読み物などを通した対話(たいわ)のワークを行う。 ③学期末プロジェクト「発表」:「勉強するモード」と「自分のことばとして使うモード」のちがいについて、自由に発表する(ストーリー・動画・ゲーム・音楽・絵などの創作(そうさく)・今学期の取り組みへの感想・読み物紹介など、なんでもよい)	教室に準備してある多読用の読み物 多読に適した(てきした)サイト 紹介などから好きなものを選んで読む。	平常点(出席・多読としての読み・ワークへの取り組み):40% 読書記録シート提出:30% 学期末プロジェクト:30%